

第7回日本プライマリ・ケア連合学会学術大会

2016年6月11日(土)～12日(日)

@浅草ビューホテル、台東区立浅草公会堂、台東区民会館、東京都立産業貿易センター台東館

プレコンgresワークショップ 19	
企画名	総合診療医のためのクリニカルバンドル -今日から始める Quality improvement と Choosing wisely-
日時	2016年6月10日(金) 17:10～18:40
会場	第13会場 (台東区民会館 9階 ホール(2))
企画責任者	小坂鎮太郎 (練馬光が丘病院 総合診療科)
定員	40名
開催の目的・概要	
【開催の目的】 総合診療医の対象疾患は幅広いが、実際には多くの時間をよく出会う症候や疾患(Common disease)の診療に費やしている。 経験ある医師でも、業務の煩雑さにより科学的根拠のある検討すべき治療法や予防策が抜け落ちることがある。これは万国共通であり、欧米ではチェックリストやケアバンドルといった診療の質向上の取り組みを行い、いくつかの臨床試験で遵守率向上の有効性が示されている。我々は、日常診療における人為的な見落とし、過剰な検査や合併症を減らして診療の質を向上させるための方策として、科学的根拠に基づき、簡易で入手しやすい診療事項のチェックリスト(クリニカルバンドル)が有用であると考え、多職種で使用している。これらを参加者らと共に作成し、共有したい。	
【概要】 世界でエビデンスの出ているチェックリストやケアバンドルといった診療の質向上策の紹介をした上で、総合診療医が外来でよく遭遇する貧血、肝障害、急性腎傷害、認知症について症例検討を行う。標準的診療や工夫についてグループワークで共有した後に、各疾患バンドルの科学的根拠について概説し、今日から使える日本版クリニカルバンドルを作成・共有したい。	